### 25.556 千円		令和 4	年度(令和	13年度実施事	業分)主要	事業評価シー			No.		
全体事業期間	PDCA	主要事業名						中川 21-6049			
会計		総合計画:	1 –	1 - 1	単位施策	: 子どもと	<u>.</u> 子育て家b	<del></del> 矢			1
金計	Р	│ │ 全体事業期間	引: 令和	3 年度 ~	3 年)	变 全体事	業費等:	25, 556	千円		
日本の										.	
日本の	総	3 か年実施計画	<b>町(当該年</b> )	度事業費等):	_	千円				1	
Transport   1.1	画との関係性と予算根	予算額	障がい児、肢体不自由児を受け入れ、児童が日々保護者の元からつくし学園に通園することにより、健康的な体づくりと基本的な生活習慣の取得を促していく。また個々の障がいの特性に応じた指導育成を実施するため、保育士の資質の向上を図り、療育の質を高めていく。  ま業目的: 児童が日々保護者の元からつくし学園に通園することにより、健康な身体づくりと基本的な生活習慣の取得を促していく。 ま業内容: 児童発達支援センターとして、発達・知的障がい、肢体不自由の子どもを受け入れ、身近な地域での適切な支援を実施する。 問題点: 個々の障がいの特性に応じた指導育成を行う必要があり、保育士課題等: 習会等を実施したり、各種研修会等に参加する必要がある。  主要事業とする理由							算見積書で活	標項目(予算計上
ため。										用	
1		7.2		じ週切る又接の	使供で天	心 り るか、 辿	1994又版	につたかる	では出りる		
個々の障がい特性に応じた指導育成や訓練などを行うことで、日常生活に必要な生活習慣の習得を促すことができる。		1		 む里							TF    <del>_\</del>
日本の地域の地域のであった。		1									改
1											
日本語		県費	目標値や	目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
大きの他   25,556 千円   25,566		0 千円	つノ」学問	11 田唐旧粉	実績値	48	48	_	人		
たの他   25,556 千円   25,580 千円   25,980 千			フヽ し <del>ナ</del> μ	图列用图光数			48	48	人		
大字の他   25,556 千円   25,980								_			
大算額								89.0			
大算額   25,980 千円   個々の障がい特性に応じた指導育成や訓練などを行うことで、日常生活に必要な生活習慣の習得を促すことができた。											
25,980 千円   個々の障がい特性に応じた指導育成や訓練などを行うことで、日常生活に必要な生活習慣の習得を促すことができた。   成果指標		25,556 十円	施 / 平 ( )	文14·11 日田) 	日標値	67.0	67.0	49.0	<u> </u>		<u></u>
(本)   (**)	ר	決算額	得られた成果								
大成果	値得ら	25,980 千円	↑個々の障がい特性に応じた指導育成や訓練などを行うことで、日常生活に必 │								
マイン   大き   では   では   では   では   では   では   では   で			成果指標 会和3年度						単位		
日標値   48.0   人   字積値   83.5   96   日標値   89.0   96   96   日標値   89.0   96   96   日標値   89.0   96   日標値   89.0   96   日標値   89.0   96   日標値   89.0   96   日標値   49.0   96   96   日標値   49.0   96   日間   49.0   96   96   96   96   96   96   96   9			- 4 1 345	5							
マイン   大きい   大きい   大きい   では   では   では   では   では   では   では   で	八   里		つくし字   	<b>園利用園児数</b>							
# 日本	Ê		つくし登り	割必割 / 庆本中	体) 歩 /	如的杂选》		83. 5			≣17
# 日本	実		7)( 1 之圆合圆(将有手册)率(判的争译)				目標値		%	]	
日   中の	<b>積</b>			園登園(療育実	施)率()	技体不自				娄	古古
中							目標値	49. 0	%	畑	┛凸
今課 の方向性 の解 方決 向に 性向 け         今後の事業 の方向性 の常勤配置を検討していく。         障がいの種別に関わらず可能な範囲で児童を受け入れ、個々の発達状況に合わせた療育を実施する。障がいの特性に関する研修等の受講や他施設の見学などにより、療育の質の向上を図っていくが、作業療法士等の必要な専門職の常勤配置を検討していく。           必要性         有効性         効率性           ①市の関与の妥当性         妥当         ④上位施策への貢献         大きい ②市民ニーズ         ③コスト         ない 削減余地         ※手段の変更           ③ウラム 含息         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	課題の整		知的発達障がい児には、個々の特性に応じた指導育成や訓練などを行ったことで、日常生活に必要な生活習慣の習得を促すことができた。肢体不自由児には、発達状況や体調等の安全面に配慮した療育を行うことができた。児童発達支援センターとして職員には療育の専門的知識が求められるため、研修等の受講や専門職員の配置により、療育の質の向上を図っていく必要があ								(決算時に作
今課 の方向性 の解 方決 向に 性向 け         今後の事業 の方向性 の常勤配置を検討していく。         障がいの種別に関わらず可能な範囲で児童を受け入れ、個々の発達状況に合わせた療育を実施する。障がいの特性に関する研修等の受講や他施設の見学などにより、療育の質の向上を図っていくが、作業療法士等の必要な専門職の常勤配置を検討していく。           必要性         有効性         効率性           ①市の関与の妥当性         妥当         ④上位施策への貢献         大きい ②市民ニーズ         ③コスト         ない 削減余地         ※手段の変更           ③ウラム 含息         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_		改善推進							冶用	区
ゆに     必要性     有効性     効率性       性向けけ     ①市の関与の妥当性     妥当     ④上位施策への貢献     大きい     プコスト     ない       ②市民ニーズ     高い     ⑤成果向上の余地     ある     削減余地     ※手段の変更       ⑧受益者負     ※受益者負	Α		障がいの種別に関わらず可能な範囲で児童を受け入れ、個々の発達状況に合わせた療育を実施する。障がいの特性に関する研修等の受講や他施設の見学などにより、療育の質の向上を図っていくが、作業療法士等の必要な専門職							用   	
性向け     ①市の関与の妥当性     妥当     ④上位施策への貢献     大きい     ⑦コスト     ない       ②市民ニーズ     高い     ⑤成果向上の余地     ある     削減余地     ※手段の変更	後題 の解	の方向性			<b>\</b> •						
け 観点別評価 ②市氏ニース 高い ⑤ 放果向上の宗地 ある 削減宗地 ※手段の変更 8 受益者負	後題 の解 方決	の方向性	の常勤配記	置を検討してい		有効性		効	率性		
	後題 の方 向に		の常勤配行 り ①市の関与の	置を検討してい 必要性 <sub>妥当性</sub> 妥当	④上位施领	<b>食への貢献</b>		⑦コスト	ない		
	後の方向性		の常勤配行 り ①市の関与の	置を検討してい 必要性 <sub>妥当性</sub> 妥当	④上位施领	<b>食への貢献</b>		⑦コスト 削減余地	ない		